

広告

企画・制作：(株)読売広告西部

健康長寿と「口腔インプラント」治療

私たちの歯と口は全身の健康と密接につながっており、人生100年時代を元気で過ごすには、歯と口腔の機能を最期まで保つことが大切です。福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野の谷口祐介講師に、何らかの理由で歯を失ったときの有用な治療法となる口腔インプラントについて伺いました。



福岡歯科大学 咬合修復学講座
口腔インプラント学分野 講師
福岡歯科大学医科歯科総合病院
口腔インプラント科 講師

谷口 祐介 先生

(たにくち・ゆうすけ)2011年3月福岡歯科大学卒、歯学博士。大学院在学中に米国ロマリンダ大学留学Implant program修了、福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野助教、同口腔インプラント学分野助教、東京医科歯科大学口腔老化制御学講座 高齢者歯科学分野登録研修医などを経て2022年1月から現職。

日本口腔インプラント学会専門医・指導医、日本補綴歯科学会専門医、ICOI:国際口腔インプラント学会認定医、iACD:国際歯科学会雑誌編集委員、日本総合歯科学会代議員、日本デジタル歯科学会代議員など

福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野 講師 谷口祐介先生に聞く

失われた歯の機能を回復

インプラントと歯科治療について。

歯科で用いられるインプラントとは、歯が抜けたところに天然歯の根の部分の代わりとして利用する「人工歯根」のことを指します。用いられる材料は生体親和性の高いチタン等で、形態は歯根型のもので多く使われています(参考図)。

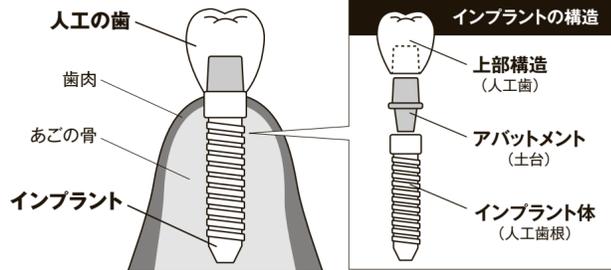
歯周病・虫歯・けがなどで歯が抜けてしまった時の治療は、両隣の歯を支えにして人工の歯を被せるブリッジ・歯肉に人工の歯をのせる入れ歯・土台になる人工歯根を顎の骨に埋め込むことで失った歯の機能を回復させるインプラントがあります。インプラント治療には、インプラントに歯やブリッジを固定する方法と、着脱式の入れ歯の支えとしてインプラントを活用する方法があります。

デジタル技術が進化 安全性の高い治療

治療技術や安全性、確実性などはいかですか。

現在主流の歯根型インプラント治療は1960年代にスウェーデンで始まり、半世紀以上の歴史があります。安全面ではデジタル技術を活用した画像診断や治療支援機器が進化しており、それらを活用することで安全性の高い手術が出来るようになってきました。

治療前に口腔内を口腔内スキャナー等で型取りし、CTで



撮影することで、顎の骨や神経の状態などを見極め、インプラント体を適切な位置や角度で埋め込むよう設計ができます。さらに、埋入手術の際は、CTデータを3Dシミュレーションソフトで解析し、計画した位置に正確に埋め込む「ガイドドサージェリー」という方法からより、インプラント体と骨からはみ出したり、顎の神経を傷めたりするリスクを回避させることが出来ます。デジタル技術が進化するにつれて、それらを歯科医師と共に扱う歯科技術士らの知識・技術も高いレベルが要求されています。

撮影することで、顎の骨や神経の状態などを見極め、インプラント体を適切な位置や角度で埋め込むよう設計ができます。さらに、埋入手術の際は、CTデータを3Dシミュレーションソフトで解析し、計画した位置に正確に埋め込む「ガイドドサージェリー」という方法からより、インプラント体と骨からはみ出したり、顎の神経を傷めたりするリスクを回避させることが出来ます。デジタル技術が進化するにつれて、それらを歯科医師と共に扱う歯科技術士らの知識・技術も高いレベルが要求されています。

かかつけ医が訪問歯科診療を行っている場合や相談が難しい場合は、厚生労働科学研究費を用いた研究事業の中で「訪問インプラント治療対応医療資源マップ」(https://www.swallowing-link/)を東京医科歯科大学の戸原先生と共に作成していますので、これを利用して訪問歯科診療でインプラント管理ができる歯科医院を検索してください。

全身の健康と密接に関係 確かな情報で最適な治療を

最後に、確かな治療のためのアドバイスなどを。

口腔インプラント治療は、全身の健康と関係している口腔の機能を保つのに有用で、人生100年時代を健康長寿を目指す治療法とも言えます。

その一方で、インプラント治療後に何らかの理由で歯科医院への通院が困難になる場合も考えられます。そのような状況になった場合は、かかりつけ医が訪問歯科診療を行っている場合や相談が難しい場合は、厚生労働科学研究費を用いた研究事業の中で「訪問インプラント治療対応医療資源マップ」(https://www.swallowing-link/)を東京医科歯科大学の戸原先生と共に作成していますので、これを利用して訪問歯科診療でインプラント管理ができる歯科医院を検索してください。

インプラントも「歯周病と同じように骨がやせてしまうことがある」メンテナンスが大切

手術前の全身状態や治療後のケアも大切と聞きます。

インプラント治療前は外科処置を伴うため、糖尿病や高血圧など全身状態がコントロールされていなければ、治療が難しくなります。また、治療後は、ケアを怠ると天然歯の歯周病に似た状態や治療後のケアも大切と聞きます。

インプラント周囲炎が起ることもあります。進行すると細菌感染や荷重負担によりインプラント周囲の骨がやせて、最悪の場合はインプラント体が脱落してしまうこともあります。インプラント体を長期安定させるためには、日頃の適切な歯磨きにより口腔内を清潔にすることが欠かせません。さらに歯科を定期的に受診して、インプラントのメンテナンスを行うことも大切です。

医療法人社団 **徳治会** 理事長 吉永 修

吉永 歯科 医院 院長 永井 孝信

熊本県宇城市松橋町浦川内824-8 ☎0964-32-5801 <https://yoshinaga-dc.net/>

松下 歯科 医院 院長 松下 哲也

熊本県八代市豊原中町字南原2360-1 ☎0965-35-1881 <https://www.matsushitashika.com/>

長野 歯科 医院 院長 長野 靖弘

熊本県合志市野々島4787-18 ☎096-242-1891 <https://nagano-dental.jp/>

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科



MEDICAL JURYDICAL PERSON PLATANUS

医療法人 社団プラタナス会
いざき 歯科 医院

院長 岩本 憲明

総合的な歯科治療

1997年(平成9年)5月10日よりインプラント治療開始

定期的な検査を行っています

インプラント治療を受けることで口腔咬合機能の回復と維持を図り、毎日の食事にご満足いただけるよう目指しています

インプラント治療は自由診療、1本35.2万円~46.75万円(消費税込)

〒810-0067 福岡市中央区伊崎3-13 ☎092-725-2626



ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社



株式会社 ピカッシュ <https://pikasshu.jp/>